

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	102							
事務事業名	スポーツ教室開催事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	最終	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	06	目	01	事業	04
担当部	教育委員会	担当課	スポーツ振興課	担当係	振興	係												
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: スポーツ推進計画)			根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: スポーツ基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的		当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	平成29年度より、指定管理者であるミズノに教室開催業務を委託することで、職員の事務量が軽減された。今後も市内スポーツ団体指導者や地域の人材を活かした教室開催を継続していくことが重要である。 また、各教室毎に参加申込にバラつきが有ることから、市民のニーズに合う新たな教室を開催する必要がある。	誰・何を対象に 市民	どのような方法・手順で 指定管理者受託者ミズノのノウハウを活かし新たな教室を開催する。	望ましい状態 生涯スポーツ社会の実現を目指し、市民のニーズを的確にとらえ、新たな種目のスポーツ教室を開催するなど、誰もが気軽に参加しやすいスポーツ教室を開催することで、スポーツに触れる機会を拡大する。													

3 事務事業の主たる成果指標																		
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																		
指標名	参加者数	単位	人	目標値	1,000	目標年次	2020	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)								年間で開催するスポーツ教室定員の合計数とした。	

4 事務事業の実績 ①																		
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																		
年度	2016年度				2017年度				2018年度									
	業務名			活動量	業務名			活動量	業務名			活動量						
事務事業を構成する主な業務	①	柔道教室(前期・後期)全24回			42	1	指定管理者のミズノスポーツ教室教室開催業務委託			36人	1	指定管理者のミズノスポーツ教室教室開催業務委託			28人			
	②	剣道教室(前期・後期)全24回			18	①	柔道教室(前期・後期)全24回			33人	②	剣道教室(前期・後期)全24回			16人			
	③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回			95	②	剣道教室(前期・後期)全24回			125人	③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回			122人			
	④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回			32	③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回			48人	④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回			47人			
	⑤	硬式テニス教室 全8回			17	④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回			19人	⑤	硬式テニス教室 全8回			0人			
	⑥	卓球教室 全8回			29	⑤	硬式テニス教室 全8回			35人	⑥	卓球教室 全8回			31人			
	⑦	昼の部健康水泳教室 全32回			449	⑥	卓球教室 全8回			527人	⑦	昼の部健康水泳教室 全32回			700人			
	⑧	アクアビクス教室(前期・後期)全20回			72	⑦	昼の部健康水泳教室 全32回			81人	⑧	アクアビクス教室(前期・後期)全20回			76人			
	⑨	太極拳教室 全15回			28	⑧	アクアビクス教室(前期・後期)全20回			33人	⑨	太極拳教室 全15回			24人			
	⑩	シェイプアップ教室 全10回			67	⑨	太極拳教室 全15回			74人	⑩	シェイプアップ教室 全8回			62人			
	⑪	ウォーキング教室 全10回			17	⑩	シェイプアップ教室 全8回			13人	⑪	ウォーキング教室 全10回			14人			
目標値に対する実績値				866	人	目標値に対する実績値				1024	人	目標値に対する実績値				1120	人	
決算額	計	1,084,863	円	内訳	特定財源	円	一般財源	1,084,863	円	計	1,358,872	円	内訳	特定財源	円	一般財源	1,358,872	円
	(住民一人あたりの行政コスト)				18	円	(住民一人あたりの行政コスト)				22	円	(住民一人あたりの行政コスト)				23	円

5 担当者評価 ②		実施したことによる成果や問題点を記入してください。														
成果	ほぼ目標どおり 成果内容 ・市内スポーツ団体の指導者を活用し地域の人材育成の成果に寄与している。 ・本年度においても、指定管理者のミズノスポーツ教室開催運営業務を委託することにより職員の時間外削減に繋がった。															
	問題点 ・開催する種目により定員に満たない教室もある。新たな種目の開催が課題となっている。 ・指導者の高齢化 ・子供達を対象とした教室を検討したが開催時間及び場所の確保が課題となる。															

6 担当部長及び担当課長評価 ③																
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。																
事務事業の方向性																
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																
評価理由 ・指定管理者との連携も密になり、社会体育施設の指定管理への市民理解が深まっていると考える。 ・2019年度より新規教室を開催し、指定管理者のノウハウを活かし市民ニーズに沿った教室運営を継続する必要がある。 ・市内のスポーツ指導者を有効に活用することで、指導者の育成及び指導者確保に貢献しているものと判断できる。																

7 実施計画 ④																		
今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	2019年度				2020年度				2021年度									
事業内容	1 指定管理者のミズノスポーツ教室教室開催業務委託				1 指定管理者のミズノスポーツ教室教室開催業務委託				1 指定管理者のミズノスポーツ教室教室開催業務委託									
	①	柔道教室(前期・後期)全24回			①	柔道教室(前期・後期)全24回			①	柔道教室(前期・後期)全24回								
	②	剣道教室(前期・後期)全24回			②	剣道教室(前期・後期)全24回			②	剣道教室(前期・後期)全24回								
	③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回			③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回			③	ジュニアハンド教室(前期・後期)全8回								
	④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回			④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回			④	レディースゴルフ教室(前期・後期)全7回								
	⑤	硬式テニス教室 全8回			⑤	硬式テニス教室 全8回			⑤	硬式テニス教室 全8回								
	⑥	卓球教室 全8回			⑥	卓球教室 全8回			⑥	卓球教室 全8回								
	⑦	昼の部健康水泳教室 全32回			⑦	昼の部健康水泳教室 全32回			⑦	昼の部健康水泳教室 全32回								
	⑧	アクアビクス教室 全10回			⑧	アクアビクス教室 全10回			⑧	アクアビクス教室 全10回								
	⑨	太極拳教室 全15回			⑨	太極拳教室 全15回			⑨	太極拳教室 全15回								
	⑩	シェイプアップ教室 全10回			⑩	シェイプアップ教室 全10回			⑩	シェイプアップ教室 全10回								
	⑪	ウォーキング教室 全10回			⑪	ウォーキング教室 全10回			⑪	ウォーキング教室 全10回								
	⑫	バドミントン教室 全7回			⑫	バドミントン教室 全7回			⑫	バドミントン教室 全7回								
⑬	立腰体操教室 全8回			⑬	立腰体操教室 全8回			⑬	立腰体操教室 全8回									
成果指標	指標名	参加者数	単位	人	目標値	1,200	指標名	参加者数	単位	人	目標値	1,200	指標名	参加者数	単位	人	目標値	1,200
予算額	歳出	計			千円	歳出	計			千円	歳出	計			千円			
		特定財源			千円		特定財源			千円		特定財源			千円			
	歳入	一般財源			1,100	千円	歳入	一般財源			1,100	千円	歳入	一般財源			1,100	千円
		計			1,100	千円		計			1,100	千円		計			1,100	千円

8 財務アドバイザーの見解																
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。																
9 行政改革懇談会(市民)の意見																
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。スポーツ人口拡大のメリットは健康寿命につながるため継続的支援は必要である。指定管理者導入のメリットを最大限に生かし、市民ニーズに沿った教室運営に努めること。ただし、参加者数の減少などが見られるのであれば、内容を精査、分析し、事業を見直すことも必要である。																
10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤																
事務事業の方向性																
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																
評価理由 市民の生涯スポーツへの関心の高まりにより、スポーツ教室の参加者は増えている。今後とも子供たちの心身の健全育成や市民のスポーツ参加拡大につながるよう継続すべき事業である。																
11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥																
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分はこの欄に記入してください。																
事業内容																